

事業名		【継続】 農地利用最適化交付金事業				
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
273万6		273万6				
事業期間		平成29年度～			総事業費	
【事業目的】 農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、平成29年7月20日より新体制38人（農業委員19人、農地利用最適化推進委員19人）定数となり、農地利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等）に向けた活動を推進していきます。						
【事業概要】 ＜農業委員会ごと＞ ○活動実績に応じた交付金 上限額（2,736,000円）＝ 38人×6千円×12か月 ※報酬及び費用弁償条例により、上記分を年度末に、活動実績等に応じて各委員に支給。（予算の範囲内で市長が定める額を加算して支給） H29.7.20から						
農地利用最適化交付金 (国新制度、活動等報酬) 農業委員等報酬 ・農業委員19人 ・農地利用最適化推進委員19人						
科目	6款	1項	1目	目名称	農業委員会費	農業委員会事務局
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業内容を実施			上記事業内容を実施		上記事業内容を実施

事業名	【継続】 農業者年金業務委託事業																								
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)																								
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																				
31万1				31万1																					
事業期間				総事業費																					
【事業目的】 農業者年金基金法に基づく年金制度で、農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的としています。（平成14年に新制度の積立方式となる） ◎独立行政法人 農業者年金基金より業務委託を受け下記業務を行っています。 【事業概要】 ○新規加入者及び脱退者等の受付等、経営移譲年金・老齢年金の裁定請求書の審査 現況届による受給権者の確認 他 ○農業後継者への加入促進活動 (戸別訪問等)・・・農業委員・推進委員と連携、広く周知するとともに加入促進へ。 ◇現状 (28年度末) ・農業者年金受給者 … 598名 ・被保険者 … 210名 (通常加入 188名、政策支援 22名) ・新規加入者 28年度…12名、27年度…5名、26年度…6名 老後の安定した生活のために、農業者年金に加入を！ 税制上の優遇措置 支払った保険料は 全額が社会保険料 控除の対象に。 保険料の額は自由に 保険料は月額2万円 から、6万7千円の範 囲内で、選ぶことが可 能です。 保険料の国庫補助あり 認定農業者等一定要件 を備えた方には、2～5 割の国庫補助あり。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>科 目</td> <td>6 款</td> <td>1 項</td> <td>1 目</td> <td>目 名 称</td> <td>農業者委員会費</td> <td>農業者委員会事務局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">事業計画</td> <td colspan="3">前 年 度 まで</td> <td>今 年 度</td> <td colspan="2">来 年 度 以 降</td> </tr> <tr> <td colspan="3">上記事業内容を実施</td> <td>上記事業内容を実施</td> <td colspan="2">引き続き実施予定</td> </tr> </table>						科 目	6 款	1 項	1 目	目 名 称	農業者委員会費	農業者委員会事務局	事業計画	前 年 度 まで			今 年 度	来 年 度 以 降		上記事業内容を実施			上記事業内容を実施	引き続き実施予定	
科 目	6 款	1 項	1 目	目 名 称	農業者委員会費	農業者委員会事務局																			
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度	来 年 度 以 降																				
	上記事業内容を実施			上記事業内容を実施	引き続き実施予定																				

事業名		【継続】 機構集積支援事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
75万8			75万5			3
事業期間		平成22年度～			総事業費	
【事業目的】 農地中間管理機構が担い手への農地集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する業務を適切に実施することを目的としています。						
【事業概要】 ○農地法に基づく事務の適正実施のための支援事業 ・利用状況調査…遊休農地等の現地調査 ・利用意向調査…上記調査の結果に基づき、農地所有者に意向調査を実施 ・農地等の台帳整備…権利の移動等の更新 ○農地の有効利用を図るための支援事業 ・農業委員、農地利用最適化推進委員研修会への参加 ○主な経費内訳 ・臨時事務員賃金 638千円 ・委員研修旅費 54千円						
【農業振興地域内の農地貸借のフロー図】						
【農業振興地域外の農地貸借のフロー図】						
科目	6 款	1 項	1 目	目名称	農業委員会費	農業委員会事務局
事業計画	前年度まで			今年度	来年度以降	
	上記事業内容を実施			上記事業内容を実施	引き続き実施予定	

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

185P

事業名	【継続】 新規就農者自立支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
200万0					200万0
事業期間	平成29年度～			総事業費	

【事業目的】

本市の基幹産業である農業の新規就農者の確保と、市外からの移住を促進するため、本市へ新規参入による独立自営就農を支援し、農業の発展と移住・定住人口の増加を図ります。

【事業概要】

○事業内容

- ・ 島原市へU I ターン等による新規就農者（新規参入等）に新規就農時の初期投資に必要な経費を支援することで、新規就農者の移住・定着を図ります。
- ・ 補助率2分の1 （200万円限度）

○対象者

- ・ 市外からの移住者や市内非農家出身者（他産業）であり、新たに農業経営を行う者
- ・ 認定新規就農者であること

○対象経費

- ・ 農業経営の開始に伴い必要となる農業用機械等の購入又はリースにかかる費用で新規就農者が市内で就農して1年以内に必要となった経費

(例)

農業用機械： 管理機、運搬車、噴霧器、草刈機等

農業用資材等： 収穫用コンテナ、園芸用支柱・ネット等

- ・ 就農独立
- ・ 若者の定住促進
- ・ 担い手の確保

◇農業研修後の定住支援



新規就農者（参入者）

科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	移住・独立自営就農者の確保			引き続き実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】雇用労力支援システム事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
686万4					686万4
事業期間	平成24年度～			総事業費	

【事業目的】

担い手農家の規模拡大に必要な労働力を安定的に確保するため、県、市、農協が連携し農業者が弾力的に活用できる労力支援システムの強化と円滑な運営に向けた支援を行い、強い経営力を持った担い手の育成と産地の維持・拡大を図ります。

【事業概要】

《事業主体》 島原雲仙農業協同組合

《事業内容》 農作業労力支援システムの強化に対する支援

◆現状

- ・ 常時雇用経営は一部で行われているが、多くは収穫等の労力が必要な時期に臨時雇用者の確保が困難な状況です。
- ・ 規模拡大や農業従事者の高齢化等により雇用労力の需用は増加傾向にあります。

◆対応策

- ・ 労力支援システムの強化により労力支援体制の充実を図り、労力不足を解消します。



人参収穫

※写真：J A島原雲仙より提供



大根収穫

科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・ 農作業労力支援システムの構築支援			・ 農作業労力支援システムの強化支援		・ 引き続き実施予定

事業名	【継続】				
	未来を創る園芸産地支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,911万9		1,470万6		90万7	350万6
事業期間	平成28年度～平成32年度			総事業費	

【事業目的】

意欲ある農業者が、経営能力を活かし高収益の農業経営を実現するため、生産対策にとどまらず担い手対策、農地対策、販売対策を加えた一体的な合意形成を促すとともに、省力化、低コスト化対策等の資機材の導入等を支援し、産地の収益力向上と維持・拡大を図るものです。

【事業概要】

《事業主体》	認定農業者等が組織する団体
《事業内容》	ハウス用換気施設 1. 04ha 炭酸ガス発生装置 1. 52ha 省エネルギー資材（循環扇） 0. 87ha 省エネルギー資材（省電力電球） 3. 58ha
《補助率》	県：1／3以内、市：1／10以上（義務負担）
《総事業費》	4,412万円（補助対象事業費 4,412万円）
県 費	1,470万6千円
市 費	441万3千円（うち他市負担金：90万7千円）
事業者負担	2,500万1千円

自動換気施設



循環扇



炭酸ガス発生装置



省電力電球



産地

- ・農作業の省力化
- ・出荷の前進化、増収化
- ・低コスト化
- ・農業経営の安定化

市・県

省力化、定時定質出荷、低コスト化に伴う施設・資材の導入を支援。

- ・ハウス用省力化施設
- ・炭酸ガス発生装置
- ・省エネルギー資材（循環扇）
- ・省エネルギー資材（省電力電球）

科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・ハウス用自動換気施設 ・トンネル資材の導入 ・炭酸ガス発生装置の導入 ・既存ハウスの補強、部材の交換			・ハウス用自動換気施設 ・炭酸ガス発生装置の導入 ・省エネルギー資材（循環扇、省電力電球）の導入		・引き続き実施予定

事業名	【継続】 新構造改善加速化支援事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,177万5		4,941万8			1,235万7
事業期間	平成28年度～平成32年度			総事業費	

【事業目的】

「新ながさき農林業・農山村活性化計画」（平成28年度～平成32年度）の振興方策に基づき、「収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策強化」、「経営感覚に優れた次代の担い手の確保・育成」、「地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり」を推進するために、農業者の経営規模拡大や高付加価値化等による農業所得向上、次代の担い手の確保育成、農山村地域を活性化する活動に必要な施設機械の導入を支援するものです。

【事業概要】

- ≪受益戸数≫ 5戸
 ≪対象作物≫ トマト、すいか、しょうが ほか
 ≪事業内容≫ 生産管理施設（ハウス） 8棟 11,737㎡
 ≪補助率≫ 県：2／5以内、市：1／10以上（義務負担）
 ≪総事業費≫ 1億2,953万2千円（補助対象事業費：1億2,355万2千円）
 県 費 4,941万8千円
 市 費 1,235万7千円
 事業者負担 6,775万7千円



生産管理施設（ハウス）

市・県

- ・農業所得向上の推進
- ・次代の担い手の確保・育成を推進



農業者

- ・経営規模の拡大による農業所得の向上
- ・次代の担い手の経営力の育成・向上

科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	野菜ハウスの整備			野菜ハウスの整備		引き続き実施予定

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書
185P

事業名	【継続】 産地パワーアップ事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6億6,000万0	6億0万0		4,840万0	900万0	260万0
事業期間	平成30年度			総事業費	

【事業目的】

水田・畑作・野菜・果樹等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援するものです。

【事業概要】

- 《事業主体》 島原雲仙農業協同組合
- 《受益戸数》 214戸（島原市：193戸、雲仙市：21戸）
- 《対象作物》 大根
- 《事業内容》 集出荷貯蔵施設（大根洗浄選別施設） 2箇所（島原地区、なんこう地区）
- 《補助率》 国：50％以内、市：5％以内
- 《事業費》 13億3,488万円（うち補助対象：12億円）
- 《負担区分》 国 費：6億円
市 費： 6,000万円
〔うち島原市： 5,100万円〕
雲仙市： 900万円〕
事業主体：6億7,488万円
※市費の負担割合：栽培面積割

〔大根洗浄選別機〕



〔内訳〕

区 分	島原地区	なんこう地区	合 計
補助対象事業費	60,000万円	60,000万円	120,000万円
国 費	30,000万円	30,000万円	60,000万円
市 費	3,000万円	3,000万円	6,000万円
（うち島原市）	(3,000万円)	(2,100万円)	(5,100万円)
（うち雲仙市）	-	(900万円)	(900万円)

科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	いちご集出荷施設の整備			大根洗浄選別機の導入		—

事業名	【継続】 有害鳥獣対策事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,406万4	471万8	161万2			773万4
事業期間	平成9年度～			総事業費	

【事業目的】

有害鳥獣（イノシシ、カラス、ヒヨドリ等）の被害が多く発生し、農業収益の低下と営農意欲の減退を招いております。このため、駆除対策として農作物の被害の状況に応じて島原猟友会へ有害鳥獣駆除の委託を行います。このうち特に被害が多く発生しているイノシシからの被害防止対策としては、侵入防止効果の高いワイヤーメッシュ柵を設置し、長期的かつ確実に被害の減少を図ります。

【事業概要】

《事業主体》 島原市、鳥獣被害対策協議会

捕 獲 対 策

- ・捕獲委託（平成9年度～）
銃器、捕獲檻、箱ワナ
- ・狩猟免許取得費補助
（講習会受講料、診断書料）

侵入防止対策

- ・ワイヤーメッシュ柵設置費補助
（平成19年度～）

◆有害鳥獣捕獲頭羽数

(単位：頭、羽)

	27年度	28年度	29年度
イノシシ	478	511	604
カラス	1,151	706	296

※ 29年度については、30年1月末時点



ワイヤーメッシュ柵

科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・イノシシ捕獲報償金 ・有害鳥獣駆除委託 ・イノシシ箱ワナ購入 ・ワイヤーメッシュ柵設置 ・狩猟免許取得			・イノシシ捕獲報償金 ・有害鳥獣駆除委託 ・イノシシ箱ワナ購入 ・ワイヤーメッシュ柵設置 ・狩猟免許取得		・引き続き実施予定

事業名	【継続】 農地中間管理機構事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
531万1				531万1	
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

農業の生産性を高め、競争力を強化していくため、農地中間管理機構（農地集積バンク）の活用により、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積と集約化の加速化を支援するものです。

【事業概要】

農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構が、地域内の分散し錯綜した農地や耕作放棄地等を借り受け、担い手（法人経営・大規模家族経営・集落営農・企業等）にまとまりのある形で利用できるよう配慮して貸付けを実施します。

（事業の流れ）

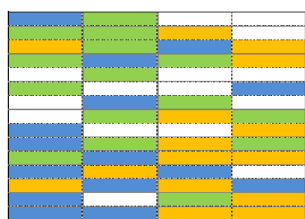
1. 貸付希望者の把握と借受希望者を募集
2. 機構が保有する予定農地を確認
3. 貸付先決定ルールに基づきマッチングを実施
4. 機構が貸付希望者から当該農地を借受け
5. 必要に応じて農地の管理、簡易な整備を実施
6. 機構から借受希望者へ当該農地を転貸
7. 賃料の収受・支払を実施

〔イメージ図1〕

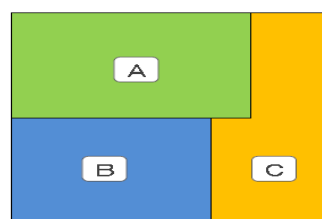


〔イメージ図2〕

地域内の分散・錯綜した農地利用
＜1枚の圃場 30a区画＞



担い手ごとに集約化した農地利用
＜1枚の圃場 1ha区画＞



科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・未利用農地を借り入れ、 担い手に転貸			・未利用農地を借り入れ、 担い手に転貸		・引き続き実施予定

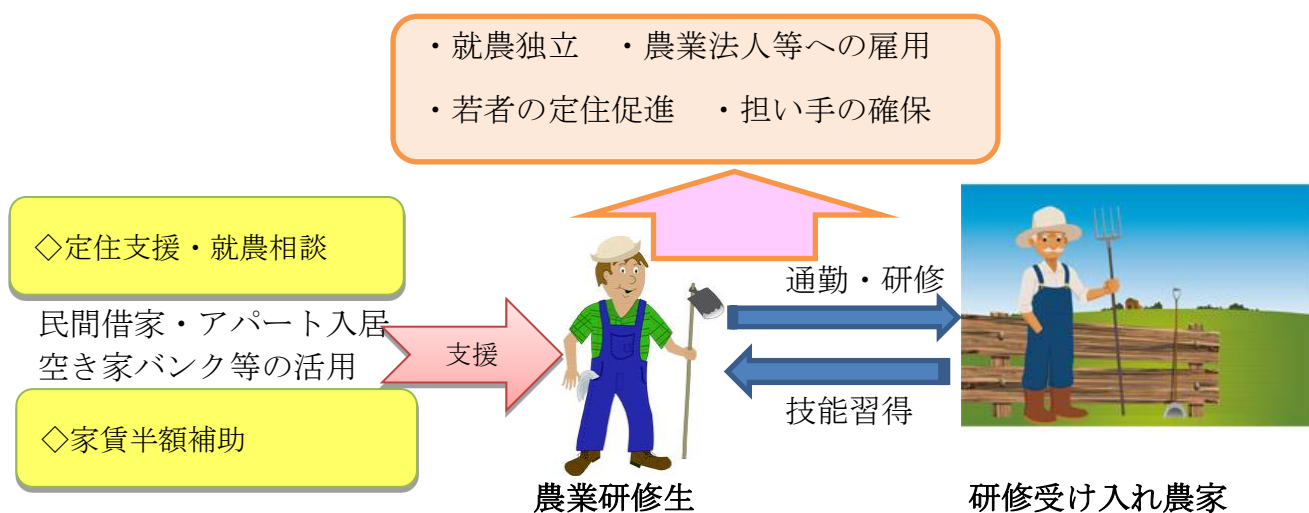
事業名	【継続】 U I ターン農業研修支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
87万0					87万0
事業期間	平成28年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市へのU・Iターンを促進するため、県外に在住する人が市内で農業研修を行う場合に、家賃の一部を助成します。

【事業概要】

- 研修者への家賃（住居費等の半額助成）上限2万5千円（最長2年）
長崎県就農相談センターの技術習得支援研修等における研修制度と連携
- 定住支援・就農相談員
普及指導員OBを非常勤職員として雇用し、新規参入就農や農業法人への雇用などに向けて専門多岐な相談に応じます。
- 新農業人フェア等への旅費
農業に興味のある学生や社会人等が参加するフェアにおいて、相談窓口を設置します。



科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	研修生誘致活動、就農相談			引き続き実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 高校生新商品開発支援事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
80万0					80万0
事業期間	平成28年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市に所在のある高等学校の生徒のプロジェクト活動で、島原地域の多様で豊富な農林水産物や地域資源を活用した新商品開発に対する取り組みを支援します。

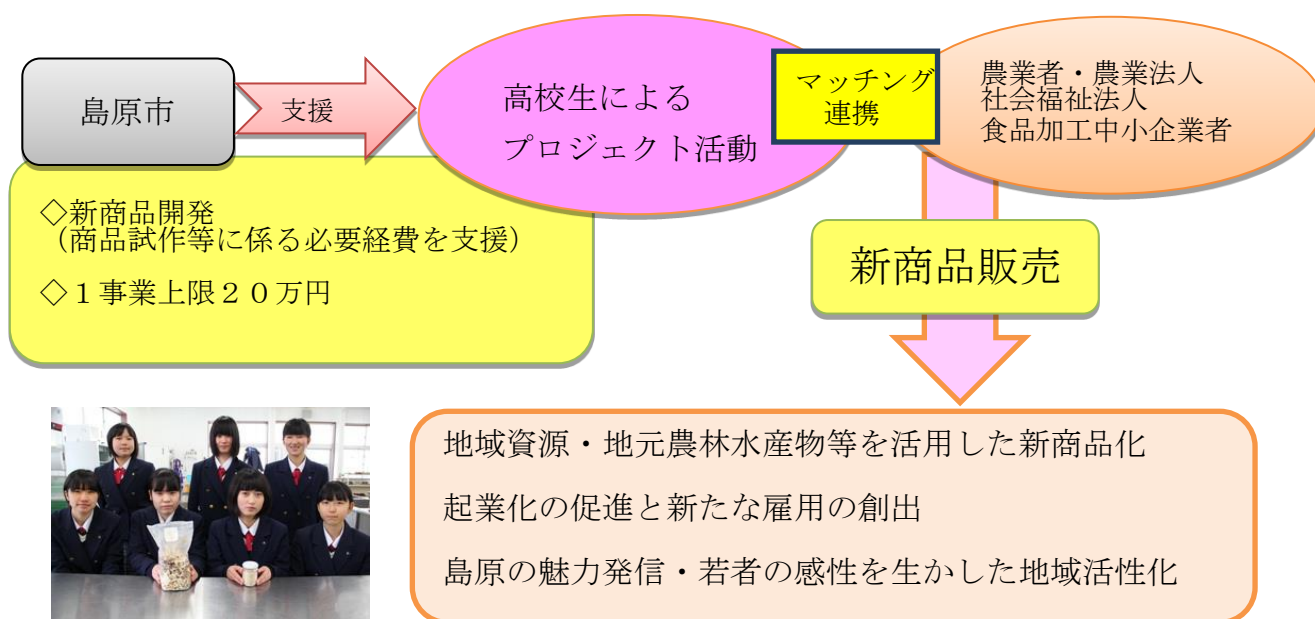
【事業概要】

《対象経費》 調査及び指導、試作、デザイン、展示会、専門家への委託、広報、品質表示等の新商品開発に要する経費
(謝金、旅費、原材料費、試作実験費、広告宣伝費、事務費、委託費等)

《補助対象》 島原市に所在がある高等学校に在学する高校生の団体

《補助率》 定額 (ただし限度額1事業につき20万円)

《補助金》 4事業(プロジェクト)



科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	高校生プロジェクトへの支援			引き続き実施		引き続き実施予定

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

187P

事業名	【新規】 農業経営高度化支援事業補助金（集積促進事業）				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,730万0		1,730万0			
事業期間	平成30年度 (単年度事業)			総事業費	1,730万0

【事業目的】

県営農地整備事業（担い手育成型）三会原第2地区が平成25年度に完了し、地区の担い手への集積が実施されたことに伴い、農業経営高度化支援事業に基づき農家の負担軽減のための助成を行います。

【事業概要】

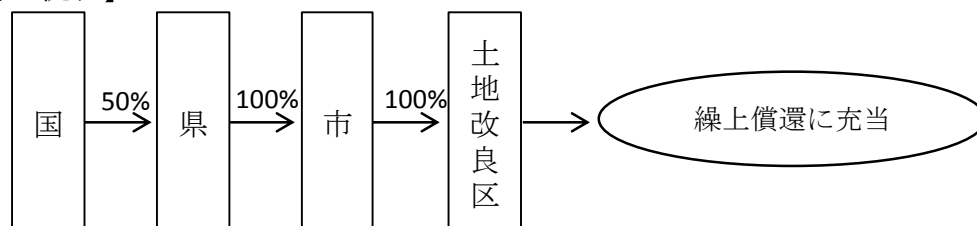
三会原土地改良区（三会原第2地区）への補助金 17,300千円
（土地改良区が実施する事業の内訳）

内 容	金額（千円）
農地整備事業に係る農家負担（借入金）の繰上償還に充当	17,300
合 計	17,300

【負担割合】

国	県	市	地元	合計
50%	50%	0%	0%	100%

【交付の流れ】



科目	6 款	1 項	3 目	目 名 称	農業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			補助金 17,300千円 (内訳) 農家負担金繰上償還 17,300千円		—

事業名		【継続】 人・農地プラン事業			
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)			
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
502万9			453万7		49万2
事業期間		平成24年度～			総事業費
【事業目的】 持続的で力強い農業構造を実現するため、青年層の新規就農者の確保や地域を中心となる担い手への農地の集積を加速化し、農業の競争力・体質強化を図ります。					
【事業概要】 高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域がある。本市においても例外ではなく、中心となる経営体は誰か、農地をどう集約するか、新規就農や農地集積対策の土台となるプランを集落ごとに作成するもの。					
課題：高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加					
↓ 解決のためには					
人・農地プランを作成・更新 ⇒新規就農者の確保や、地域の担い手への農地集積の推進等、地域の話し合いによって「人と農地の問題」を解決するための人・農地プラン（未来の設計図）を策定する					
↓ 人農地プランに位置づけられると					
農業次世代人材投資資金 農政新時代に必要の人材力の強化を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する交付金を交付。 （年間最大150万円）		農地集積協力金 人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる経営体への農地集積に協力する者に協力金を交付		スーパーL資金金利負担軽減措置 人・農地プランの中心経営体へ位置づけられた認定農業者に対し、貸付当初5年間の金利を無利子化	
				経営体育成支援事業 人・農地プランの中心経営体へ位置づけられた農業者の機械、施設導入事業等に対し助成	
科目	6 款	1 項	3 目	目名称	農業振興費
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度	
	・人・農地プラン更新 ・農業次世代人材投資資金 11名 （うち前年度継続10名）			・人・農地プラン更新 ・農業次世代人材投資資金 4名 （うち前年度継続2名）	
				引き続き実施予定	
				産業政策課 来 年 度 以 降	

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

191P

事業名	【継続】 長崎県家畜導入事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
967万2		695万0			272万2
事業期間	平成25年度～			総事業費	

【事業目的】

「長崎和牛」の生産振興対策として、肉用牛の生産頭数を増加させるため、優良な繁殖雌牛の計画的な導入により農家の生産基盤を確立し、経営の安定を図るものです。

【事業概要】

《事業主体》 島原雲仙農業協同組合

《事業内容》 農協等が繁殖雌牛の購入又は融資により、肉用繁殖雌牛群の整備及び増殖に意欲を有する者に対し、一定期間の貸付・営農指導を行った後、その者に譲渡する場合、その経費の一部を助成します。

・導入頭数：繁殖雌牛72頭

①増頭タイプ 67頭

②維持タイプ 5頭

《総事業費》 5,035万2千円

県 費 695万円

市 費 272万2千円

事業者負担 4,068万円



長崎県種雄牛：金太郎3

科目	6 款	1 項	4 目	目名称	畜産業費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	繁殖雌牛の導入			繁殖雌牛の導入		引き続き実施予定

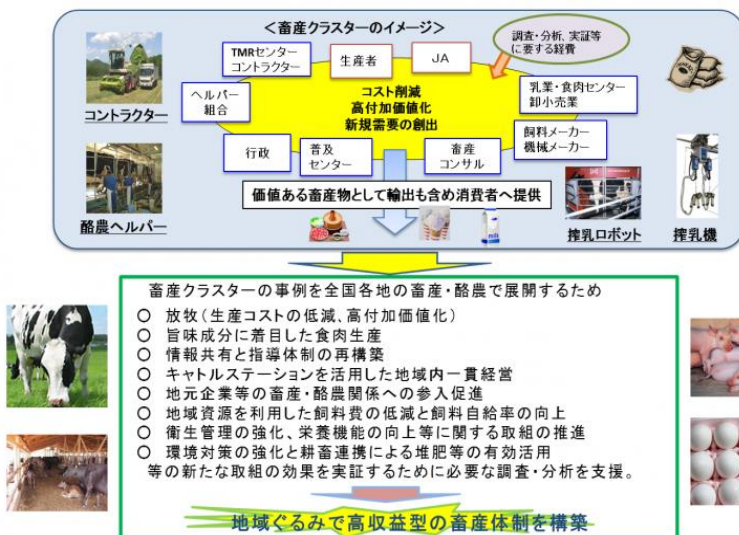
事業名	【継続】畜産クラスター構築事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億5,661万8		1億4,894万2			767万6
事業期間	平成28年度～			総事業費	

【事業目的】

中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取組を支援することにより、市内の畜産の収益性の向上を図り、畜産の安定的発展を目指すものです。

【事業概要】

- 《事業主体》 畜産クラスター協議会（2協議会）
 《取組主体》 2法人
 《畜 種》 豚、肉用牛
 《事業内容》 肥育豚舎 1棟 958.8㎡、肥育牛舎 3棟 2,520㎡
 堆肥舎 1棟 480㎡
 《補助率》 国：1/2以内、県：13.5%以内(肉用牛のみ)、市：5%以内(上限額500万円)
 《総事業費》 2億8,666万6千円（うち補助対象：2億6,543万1千円）
 《負担区分》 国 費：1億2,296万9千円
 県 費： 2,597万3千円
 市 費： 767万6千円



期待される効果

地域全体の収益力向上

畜産経営の安定化

飼養規模の拡大

飼養施設の整備

科目	6 款	1 項	4 目	目名称	畜産業費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	畜舎及び堆肥舎等の整備			畜舎及び堆肥舎の整備		—

事業名	【継続】 三会原第3地区県営畑地帯総合整備事業費負担金				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地方債	その他	一般財源
1,300万0			1,040万0		260万0
事業期間	平成24年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	3億5,098万0

【事業目的】

本地区は、島原市街地の北西部に位置する緩傾斜地帯で、昭和46年から53年にかけて県営畑地帯総合整備事業によりかんがい施設を整備したが、農地の区画が5～10aと狭く不整形なうえ、点在していることから農作業の効率が悪い状況です。

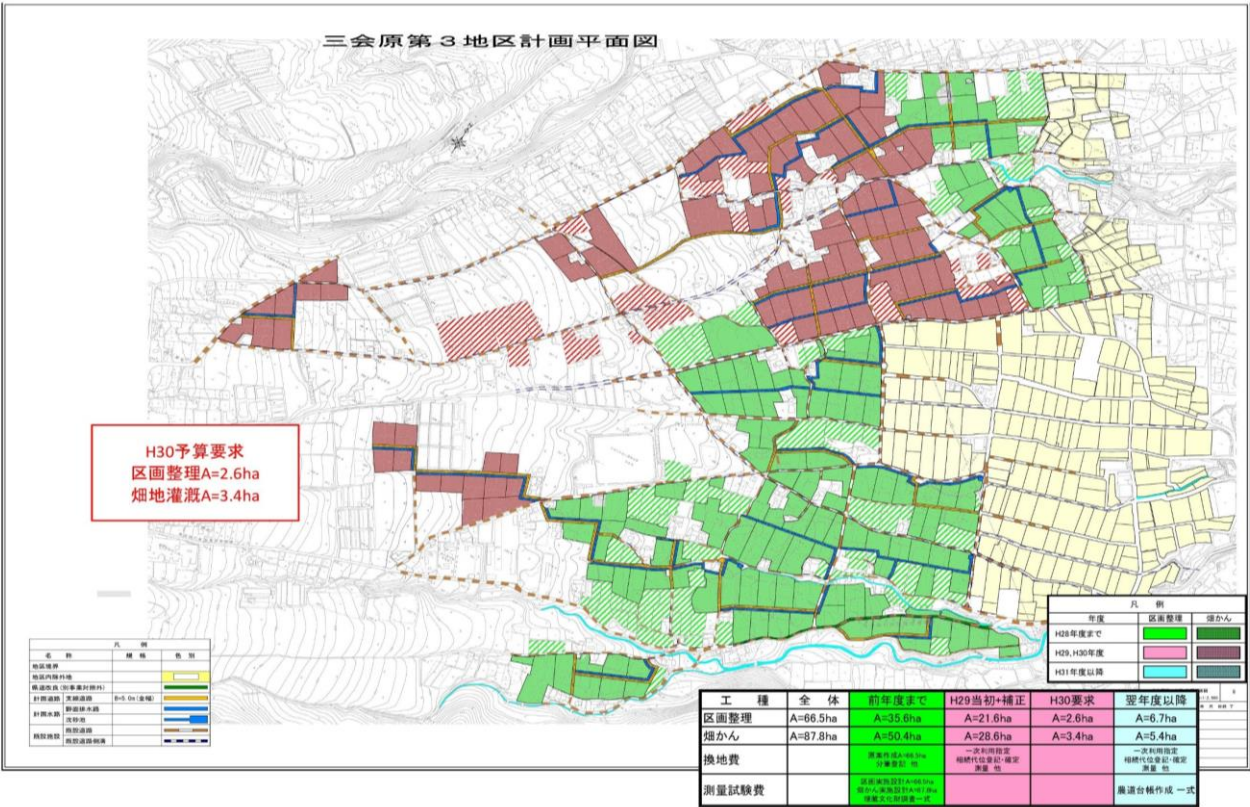
そこで、農地の区画整理と併せて道路、水路の整備や老朽化したかんがい施設の改修を行うとともに、農地の集積を行うことで農業経営の安定化を図ります。

【事業概要】

《事業主体》 長崎県
《事業内容》 区画整理 66.5ha 畑かん施設 87.8ha

○30年度施工予定分

事業費 104,000千円 (負担割：国55%、県27.5%、地元(市・受益者)17.5%)
市負担金 13,000千円



科目	6 款	1 項	5 目	目名称	農地費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・地形図作成、基本設計作成 ・換地計画原案作成 ・区画整理工事施工 ・畑かん施設工事施工 ・換地業務			・区画整理工事施工 ・畑かん施設工事施工		・区画整理付帯工事施工 ・畑かん施設付帯工事施工 ・一次利用指定 ・相続代位登記 ・確定測量

事業名	【継続】 三会原第4地区県営畑地帯総合整備事業費負担金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地方債	その他	一般財源
1,875万0			1,500万0		375万0
事業期間	平成28年度～平成34年度 (複数年度事業)			総事業費	3億5,225万0

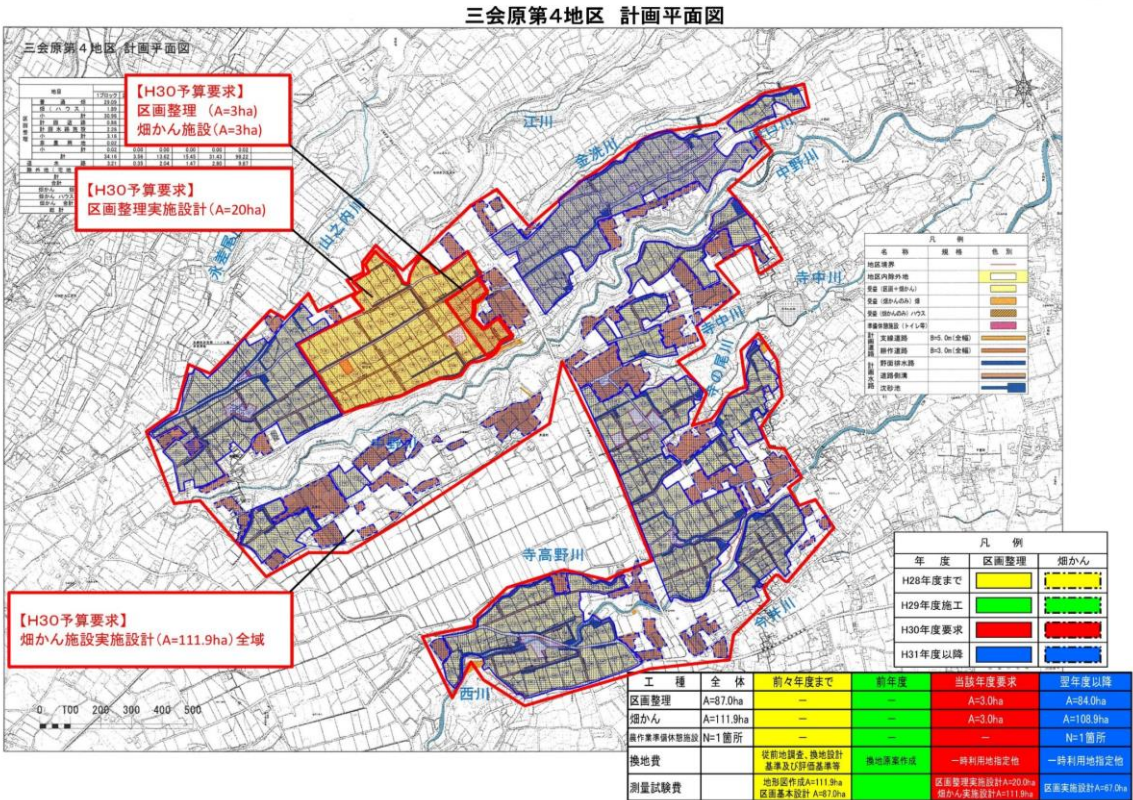
【事業目的】

本地区は、島原市街地の北西部に位置する緩傾斜地帯で、昭和46年から53年にかけて県営畑地帯総合整備事業によりかんがい施設を整備したが、農地の区画が5～10aと狭く不整形なうえ、点在していることから農作業の効率が悪い状況です。

そこで、農地の区画整理と併せて道路、水路の整備や老朽化したかんがい施設の改修を行うとともに、農地の集積を行うことで農業経営の安定化を図ります。

【事業概要】

《事業主体》 長崎県
《事業内容》 区画整理 87.0ha 畑かん施設 111.9ha
○30年度施工予定分
事業費 150,000千円 (負担割：国55%、県27.5%、地元(市・受益者)17.5%)
市負担金 18,750千円



科目	6 款	1 項	5 目	目名称	農地費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・従前地調査、換地設計基準及び評価基準等 ・地形図作成、区画基本設計 ・換地原案作成			・区画整理実施設計 ・畑かん実施設計 ・区画整理工事施工 ・畑かん施設工事施工		・区画整理工事施工 ・畑かん施設工事施工 ・農作業準備休憩施設 ・一次利用指定他 ・区画実施設計

事業名		【新規】 河川路面下空洞化調査業務				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
500万0						500万0
事業期間		平成29年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	
【事業目的】						
島原市が管理する河川等に面している路面において、路面下の空洞の有無等の異常（空洞化により災害、第三者被害につながるおそれのある変状等）を把握するための調査を実施し、対策工事等の基礎資料及び陥没事故を未然に防ぐことにより、安全・安心の確保に寄与することを目的としています。						
【事業概要】						
《事業期間》 平成29年度～平成32年度						
《事業内容》 調査延長 L≒7 k m						
		河川位置図				
	河川名	実施年度				
1	中野川	平成29年度				
2	中河川	平成30年度				
3	境之松川					
4	江川					
5	江崎川					
6	尻無川	平成31年度				
7	堤沢川					
8	山ノ田川					
9	栗谷川第1					
10	敷坪川	平成32年度				
11	佐野川					
12	地川内川					
13	荒牧川					
14	小原川	平成33年度				
15	椎山川					
16	大野川					
17	二軒茶屋排水路					
18	板の元川					

科目	6 款	1 項	5 目	目名称	農地費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	路面下空洞化調査 調査延長 L≒2 k m			路面下空洞化調査 調査延長 L≒2 k m		路面下空洞化調査 調査延長 L≒3 k m

事業名	【新規】 農村地域防災減災事業（調査計画事業）				
	財 源 内 訳				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
900万0		900万0			
事業期間	平成30年度（単年度事業）			総事業費	900万0

【事業目的】

当該ため池の直下には一級市道や農地が広がり、ため池が決壊すれば大きな被害が生じる恐れがあることから、ため池の耐震性を調査し、地域の安全・安心の確保を図るとともに、ため池ハザードマップの作成を行い、地域住民の防災意識を高め、災害発生時には迅速かつ的確な避難を可能にすることを目的とします。

【事業概要】

《事業主体》 島原市

《事業内容》 調査地区：野田ため池

調査事業：地質調査N=1式

計画事業：現地測量N=1箇所 耐震性点検N=1箇所

ハザードマップ作成N=1箇所

事業費：9,000千円（負担割：国100%）



科目	6 款	1 項	5 目	目 名 称	農地費	農林水産課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	なし			農村地域防災減災事業（調査計画事業） ・調査事業：地質調査N=1式 ・計画事業：現地測量N=1箇所 ・計画事業：耐震性点検N=1箇所 ・計画事業：ハザードマップ作成N=1箇所		なし

事業名		【継続】 多面的機能支払事業				
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)				
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,688万0			2,750万9			937万1
事業期間		平成26年度～平成30年度 (複数年度事業)			総事業費	1億7,720万3
【事業目的】						
農業振興地域内の農地や農業用水路などの資源を守るため、農業者、地域住民等で構成する活動組織が農道や水路などの維持管理のほか、景観形成等の農村環境の良好な保全や長寿命化に関する活動を実施する場合に交付金を交付します。						
また、市においては、活動組織の活動に対し指導・助言を行うとともに、他地区への推進活動などを行います。						
【事業概要】						
《事業主体》 活動組織及び島原市						
《事業期間》 平成26年度～平成30年度						
《事業内容》 対象農用地面積 A＝685ha						
○平成30年度交付金予定分 (事業費 36,880千円)						
①農地維持支払交付金 (14,449千円)						
2組織 (島原農地保全広域協定運営委員会、向光会)						
・多面的機能を支える共同活動を支援						
(水路・農道等の土砂上げ、除草などの基礎的保全活動)						
②資源向上支払交付金 (共同活動) (7,866千円)						
2組織 (島原農地保全広域協定運営委員会、向光会)						
・地域資源の質的向上を図る共同活動を支援						
(水路・農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の活動)						
③資源向上支払交付金 (長寿命化) (13,965千円)						
2組織 (島原農地保全広域協定運営委員会、向光会)						
(施設の長寿命化のための活動)						
④推進交付金 (300千円) 島原市						
・活動組織への啓発、						
説明会開催等の推進活動						
⑤広域活動組織運営交付金						
(300千円) 1組織						
(島原農地保全広域協定運営委員会)						
・広域活動組織の運営費						
○交付金負担割						
①、②及び③						
国 50%、県 25%、市 25%						
④国 100%						
⑤市 100%						
《交付金の流れ》						
①農地維持 ②資源向上 ③資源向上長寿命化 国 (50%) → 50% → 県 (25%) → 75% → 市 (25%) → 100% → 活動組織 ④推進交付金 国 (100%) → 100% → 県 (0%) → 100% → 市 (0%)						
科目	6款	1項	5目	目名称	農地費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	①農地維持			①農地維持		—
	②資源向上 (共同活動)			②資源向上 (共同活動)		
	③資源向上 (長寿命化)			③資源向上 (長寿命化)		
	④推進事業			④推進事業		
	⑤運営事業			⑤運営事業		

事業名	【新規】 高性能林業機械導入事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
226万8					226万8
事業期間	平成30年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

林業は、木材価格の低迷や林業経営費の高騰、林業従事者の高齢化等により経営意欲が減退しており、森林を適正に管理し、森林の有する多面的機能を持続的に発揮されるためには、計画的な間伐・保育等を推進することが課題となっております。

このようなことから、計画的な林業施業を行うため、作業の効率化や低コスト施業の維持増強に必要な高性能林業機械の導入を支援するものです。

【事業概要】

- 《事業主体》 雲仙森林組合
 《事業内容》 高性能林業機械の導入（プロセッサ 1台、フォワーダ 1台）
 ※プロセッサ：集積された丸太の枝払い、寸法の自動計測、玉切りを行う機械
 ※フォワーダ：玉切りした木材をクレーンで荷台に積み込んで運ぶ集材用機械
- 《補助率》 国：1／3以内、市（半島3市）：1／3以内
 《事業費》 4,914万円（補助対象事業費：4,550万円）
 《負担区分》 国 費：1,350万円
 市 費：1,350万円
 うち島原市：226万8千円（17%）
 雲仙市：626万8千円（46%）
 南島原市：496万4千円（37%）
 事業主体：2,214万円
 ※市費の負担割合：均等割、人工林面積・組合員数割



〔プロセッサ〕



〔フォワーダ〕



科目	6 款	2 項	2 目	目名称	林業振興費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	-			高性能林業機械の導入		-

事業名	【継続】 水産多面的機能発揮対策事業負担金				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
396万0					396万0
事業期間	平成28年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	2,736万0

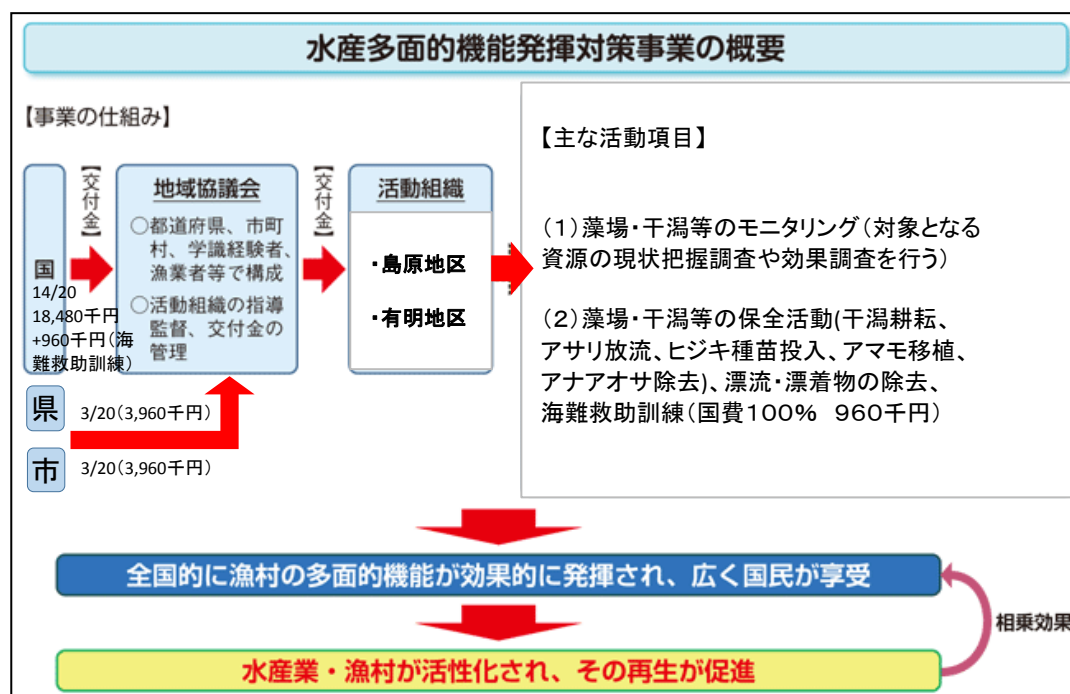
【事業目的】

藻場・干潟等は、産卵場の提供、幼稚仔魚の保育場となること等から、水産資源の保護・培養に重要な役割を果たすとともに、水質浄化等の公益的機能の発揮を支える社会の共通資源である。近年、藻場・干潟等の減少、機能低下がさらに進行していることから、藻場・干潟等の機能の維持及び回復を図ること、また、海洋汚染の原因となる漂流・漂着物の処理等を行うことで海洋環境の保全を図ります。さらに、水産多面的機能の一環として海難救助訓練を行い、事故の際に救助できる技術の習得を目指します。

【事業概要】

《事業主体》 長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会

《事業期間》 平成28年度から平成32年度



科目	6 款	3 項	2 目	目名称	水産業振興経費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・藻場・干潟等のモニタリング ・藻場・干潟等の保全活動 ・海難救助訓練 ・漂流・漂着物の処理等			・藻場・干潟等のモニタリング ・藻場・干潟等の保全活動 ・海難救助訓練 ・漂流・漂着物の処理等		・藻場・干潟等のモニタリング ・藻場・干潟等の保全活動 ・海難救助訓練 ・漂流・漂着物の処理等

事業名	【新規】 漁港海岸保全事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,152万5	576万2				576万3
事業期間	平成30年度 (単年度事業)			総事業費	1,152万5

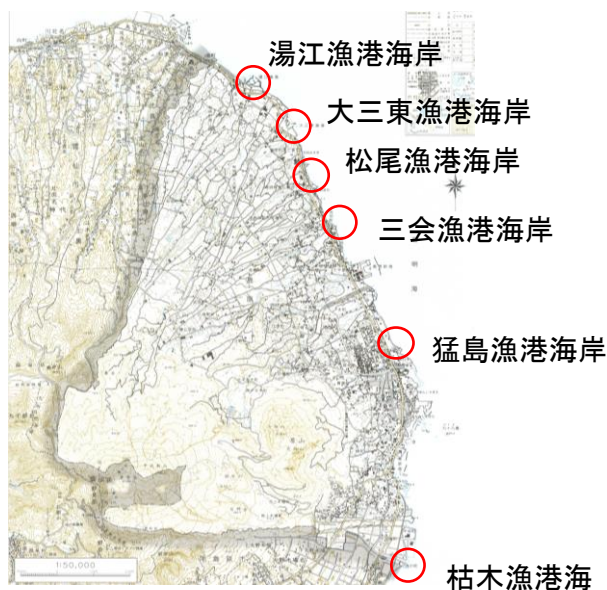
【事業目的】

島原市が管理する漁港海岸の機能を保全するための機能診断、対策工事を行うことで海岸施設の長寿命化を図り、護岸の適正な維持管理を行います。

【事業概要】 長寿命化計画書の作成

- ・湯江漁港海岸 L = 1,516m
- ・大三東漁港海岸 L = 848m
- ・松尾漁港海岸 L = 702m
- ・三会漁港海岸 L = 1,119m
- ・猛島漁港海岸 L = 1,415m
- ・枯木漁港海岸 L = 144m

○平成30年度事業費	11,525千円
うち市予算額	11,525千円
(財源内訳)	国庫補助金 5,762千円 (50%)
	一般財源 5,763千円



科目	6 款	3 項	3 目	目名称	漁港管理費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			・漁港海岸長寿命化計画書策定業務 (湯江、大三東、松尾、三会、猛島、枯木地区)		—

事業名	【継続】				
	水産物供給基盤機能保全事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億1,670万0		5,835万0	5,780万0		55万0
事業期間	平成24年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	3億8,900万0

【事業目的】

平成28年度に実施した漁港の機能を保全するための機能診断（水域）により、実施設計や調査及び対策工事を行うことで、漁港施設の長寿命化を図り、漁港の適正な維持管理を行います。

【事業概要】

○大三東漁港（防砂堤築堤工事、泊地浚渫工事）

漁港港内に土砂等が堆積し、漁船の航行に支障を来しているため、港内の浚渫と土砂の港内への流入を防ぐための防砂堤(L=70m)を築堤します。

○猛島漁港（実施設計、底質調査）

- ・漁港港内に土砂等が堆積し、漁船の航行に支障を来しているため、港内の浚渫にかかる実施設計を行います。
- ・漁港港内の浚渫土砂を搬入する前に、土砂の安全性を確認するため成分分析を行います。



科目	6 款	3 項	3 目	目名称	漁港管理費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・大三東、湯江、猛島、三会漁港機能保全計画書作成（外郭施設、水域施設）			・猛島漁港機能保全設計業務（水域施設） ・大三東漁港機能保全工事（水域施設：浚渫及び防砂堤の整備）		・猛島漁港機能保全工事（水域施設：浚渫工事） ・湯江漁港機能保全設計業務（水域施設）

事業名	【継続】 三会漁港海岸保全施設整備事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,905万3	2,927万5	1,024万6	1,900万0		53万2
事業期間	平成23年度～平成30年度 (複数年度事業)			総事業費	6億7,000万0

【事業目的】

本事業は、護岸の整備を行うことで、高潮及び波浪などから国土や背後地住民の生命・財産を守るため、消波ブロックの設置を行います。

【事業概要】

《事業主体》 島原市
 《事業期間》 平成23年度から平成30年度
 《事業内容》 護岸改良 L=748m
 《補助率》 国：50% 県：17.5% 市：32.5%

(イメージ)



科目	6 款	3 項	4 目	目名称	三会漁港海岸保全事業費	農林水産課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	消波ブロック製作 L=719m 6,404個 消波ブロック据付 L=580m 5,621個			消波ブロック製作 N=237個 (L=29m) 消波ブロック据付 L=168m (1,020個)		なし